

平成23年度
江戸川学園
取手中学校

入学試験問題（第 1 回）

国 語

（60分 満点：150点）

注 意

1. 指示があるまで開いてはいけません。
2. 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 用具類の貸し借りは禁止します。
4. 指示があるまで席をはなれてはいけません。
5. 質問があればだまって手をあげて監督者を呼びなさい。
6. 問題用紙も解答用紙といっしょに出しなさい。問題用紙の
余白は下書きとか計算などに利用してもかまいません。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

□ 次の文章は童話作家、安房直子のエッセー（随筆）です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

軽井沢の森の中に、小さな山小屋をつくって、夏はそこで過ごすようになってから、十五年になります。

私は、日ごろ、ほとんど旅行をしませんので、夏の一か月を別の場所ですごすことは、すてきな気分転換になります。

そこで、毎年、六月のカレンダーがめくられ、いよいよ夏の声を聞くと、そわそわはじめます。息子の夏休みのはじまる日にマルをつけながら、私の心はもう、山の家にとんでいます。そうして、はやる心をおさえながら、せつせと原稿を書くのです。少なくとも、八月締切りまでの仕事は、東京で片づけてゆきたいと思ひながら。

しっかり書きなさい、山の緑が待っているから、と、自分で自分を叱咤激励しながら、ひたすら書きます。¹ ごほうびを目の前にぶら下げられると、仕事はよくはかどるもののように、毎年、七月一日から、七月二十日ごろまで、私は、かなりのスピードで仕事をします。そうして、² 梅雨が明け、夏空に白い雲がひろがると、さあ、荷物のしたく！

宅急便の段ボール箱を、三つ四つ用意して、そこに、あちらで必要なものを、どんどん入れてゆきます。衣料品、食料品、新しいテーブルかけ、音楽のテープ、そして、たくさんの本！こんなにたくさん読めるわけがないと知りながら、文庫本をどっさり買いこんで詰めこむとき、これは、どういう心理だろうか、自分でも、おかしくなります。それでも、あれも読みたい、これも読みたいで、毎年、多すぎるほどの本をかかえて、私は山へ行くのです。

出発の朝、³ 列車が、ゆっくりと上野駅をはなれてゆくときの解放感を、何にたとえたらよいでしょうか。まるで、世界の果てまでも行く人のように、⁴ 私の心は、はずんでいます。この線路のずっとむこう、いくつもいくつもトンネルを抜けた森の中で、私の小さな家が待っていると思うと、それだけで、胸が躍るのです。

それは、ほんの十五坪足らずの小さな家です。ベランダが、いくらか広いだけの、質素な建物ですが、庭にはカラマツとクルミの木があつて、そこによく、リスが遊びにきます。キジバトや、キツツキや、それから名も知らない野鳥もやってきます。風が吹くと、背の高いカラマツがゆっくりとゆれて、その下で空を見上げると、ふと「林の底」という宮沢賢治の童話が思い出されたりします。

この緑の中で、私は、持ってきた本の三分の一ほどを読み、作品の構想ノートをついばいにし、家族と、たくさん散歩をします。たまに、バスで山を一つこえて、「町」へ行き、おいしいケーキを買ってくることもあります。花の名前や鳥の名前を調べたいときは、町立図書館にも足を運びます。

このごろの軽井沢は俗化してしまつて、と、嘆く人がありますが、都会の生活を捨てきれない私にとって、⁵ 軽井沢は、やはり好まし

い土地です。大きな病院もあり、図書館もあり、美術館もあつて、それで林の中にももっているかぎり、静寂がたもてるからです。

私は、テニスもゴルフもサイクリングもしませんが、軽井沢がとても好きです。大好きな作家、堀辰雄のにおいがするからでしょうか。それとも、⁶ たおやかな浅間山が見えるからでしょうか。晴れた日に、白い煙をくゆらせ、すそ野までくっきりと見えている浅間山に出会つと、私は、思わず手を合わせたくくなります。おおらかで神秘的で、こんなに美しい山は、日本のどこにもないと思うのです。

そしてもう一つ、軽井沢でのひそかな楽しみは、おいしいジャムが食べられることです。数年前に私は、軽井沢で、ジャム作りの物語を思いつきましたが、森の中で、木の実や草の実を摘んで、それでゆっくりとジャムを煮るような、そんな豊かな生活を、いつか私もしてみたいと思っています。

こうして、緑の中で暮らしていると、ふと、⁷ 時間が止まってしまったような気がすることがあります。そんなとき、林の中を無心に歩いていみると、いつか、自分の体も緑に染まつてゆき、自然の一部になつてゆくように思われます。両手をひろげてスキップをすれば、鳥にも蝶にもなれるような気がするきます。

こうして、満ち足りた夏を送り、すぎすが、つややかな穂をのぞかせるころ、私は、東京にもどります。⁸ 森の中に、小さな家をぼつんと残して帰つてくるとき、私はふと、悲しい気持ちになります。

家というものに、心があると思ひはじめたのは、いくつのころでしょうか。

私は、子どものころ、父の仕事の都合で、日本じゅうを転々とし、いくつもの家に住みましたが、引越しのたびに、それまで住んでいた家をからっぽにして別れてくるのが悲しかったのです。そして今も、夏の最後の日に、山の家のかぎをかけるときは、悲しい気持ちになります。

東京へ帰るときはいつも、夕方六時発の「そよかぜ4号」。夕日にくっきりと映える浅間山に別れを告げ、遠い森の中の小さな家に、さよならを言いながら、もどってきます。

そして、帰ってきてからも、私は山のことを思います。目をつぶれば、モミの木の匂いや、霧の中で呼びかわすカッコウの声が、思ひうかんだりします。秋には、カラマツの落葉が、屋根に積もつてゆく音まで聞こえるような気がします。

そうして、冬になって、雪が積もつたら……あの家に、キツネの家族が、やってくるのでしょうか。キツネたちは、私たちのテーブルで、お茶を飲むのでしょうか。子ギツネは、本だなの絵本を読むのでしょうか。戸だなの中に、紅茶とお砂糖を残しておいてよかったなど、思ひたりします。

山の小さな家は、そこに住んでいるときも（X）ときも、私の心を、豊かに、しあわせにしてくれるのです。

（安房直子『恋人たちの冒険』所収「心を豊かにしてくれる森の家」偕成社二〇〇四年より 一部改変した）

問一 傍線部1とありますが、ここでの「こほうび」とは何ですか。その答えにあたる十六文字の言葉をこれより前の文章中から探し、その最初の五文字を答えなさい。

問二 傍線部2を簡潔に言い換えた六文字の言葉をこれより前の文章中から抜き出しなさい。

問三 傍線部3とありますが、これは何から「解放」される感じといえることができますか。その答えにあたる五文字の言葉をこれより後の文章中から抜き出しなさい。

問四 傍線部4とはほぼ同じ意味の五字以内の言葉を文章中から抜き出しなさい。

問五 傍線部5とありますが、筆者が軽井沢を好ましく思う一番の理由はどういう点にあると思われますか。「く点。」に続くように七文字の言葉を文章中から抜き出しなさい。

問六 傍線部6とありますが、これはどのような浅間山ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 険しい山肌の浅間山

イ 今にも倒れかかってきそうな浅間山

ウ しなやかな姿をした浅間山

エ それほど高くない浅間山

問七 傍線部7とありますが、このとき筆者は何を感じたと思われますか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 不安

イ 永遠

ウ 恐怖

エ 緊張

問八 傍線部8とありますが、これはどのように歩くことですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 何かを探すように歩くこと。

イ 行く先もはっきり決めずに歩くこと。

ウ 道に迷い、さまよい歩くこと。

エ 何も考えずに歩くこと。

問九 傍線部9とよく似た状況を表現した一文を文章中から探し、その最初の五字を答えなさい。

問十 空欄Xに適切な平仮名三文字の言葉を考えて入れなさい。

二

次の文章は「元将棋名人」で「永世棋聖」、米長邦雄氏の文章です。よく読んで、後の問いに答えなさい。

今、新しい産業のためにIT（情報技術）の必要性が叫ばれています。これは金銭のため、産業のための教育ではないか。教育というものの本質を見失ってはなりません。¹魂を育むこと、²琴線にふれる教育でなければなりません。

私が、IT革命を学校教育の中に入れることを、懸念するのは、他にもわけがあります。

インターネットでは、ウェブ（WEB）というものを張りめぐらせて、情報をそこで流していますが、ウェブとは「クモの巣」という意味です。つまりIT革命とは、世界中にクモの巣をはりめぐらせ、そのクモの糸の中を、³縦横無⁴に情報が走り回る状態を作り出そうというわけです。

²これで得をするのはクモだけ。ネットに引っかけた虫をとって食べる世の中にしようとしているのです。それを取りに行く役目のものをマウス（ねずみ）と称するのです。

逆にクモの巣を張りめぐらせたとき、一番困るのは誰か。

それは、自由に飛ぶことができなくなる虫や蝶です。

教育とは、人間を蝶々のように美しく舞わせ、大輪の花を咲かせ、一本の木に青々と葉や実をつけるようにする大事な仕事です。そこに、クモの巣を張りめぐらせてしまうと、自由な成長や飛躍を邪魔することになります。

ITやデジタル機器は確かにビジネスには必要かもしれませんが、教室に持ち込んではいけません。ただでさえ携帯電話の発達によって、子どもの心はデジタルに汚染されています。デジタルに名を借りた高級おもちゃは、この辺で打ち止めにしてもらいたい。

パソコンやインターネットのみ特別扱いをしていますが、これもおかしい話です。すでに携帯電話とインターネットがつながっている。プレスでもそうなります。パソコンもテレビもプレスもすべて合体する世の中になってしまふのです。

教室に携帯電話やテレビゲームを持ち込んでもいいんでしょうか。³ダメに決まっているじゃありませんか。

脳生理の最新研究によると、こうしたデジタル機器は、大脳皮質にある「四十六野」（前頭前野）というところの機能低下を起こすといっています。

この四十六野は、自分の理性の力を、⁴制御するところといわれ、ここが正常に働かないと、自己の人格と関連している前頭葉の十野、九野からの情報が伝達されず、自分と他人の区別ができなくなり、人格交替の現象さえ起こりかねないというのです。

今は情報過多の時代とも言えます。情報を利用するまえに、たくさんの方の情報ががんじがらめになってしまふことも考えられます。母と

子が、周囲と関わりを持たずにいる、母子の密室育児が問題になっていますが、その場合も、目の前の我が子としっかり向かい合わず、メディアによる多大な情報にとらわれて、精神的に追い詰められてしまふ例が、たくさんあるようです。

テレビは、デジタル化ということで、今後は四百チャンネル時代になると言います。ですが、四百チャンネルが一度に見られるからといって、はたして視聴者がそんなに見るのか、と言ったら疑問です。

結局、世の中、情報は宝だと言いますが、実はその中には不要なものも多く、まったく逆に、「情報は二十世紀最大の（X）」である、と断言いたします。

⁴いくらIT革命が進んでも、その中の世界は、魂がこめられたものではなく、マウスを動かして文字どおり「小手先」で作った幻、砂上の楼閣にすぎないということです。

世界中につながるなどというところ、いかにも国際化時代に即しているように聞こえますが、インターネットに⁵氾濫している外国語や、外国情報の中で、自分の母国を忘れ、独自の言語や文化のよさを見失っている現代人がいかに多いことか。

グローバルスタンダードとは何か。国際化、国際人とは何か。これについてはっきりと書いておかねばなりません。これはお互いに、個人同士が自分の足元を踏みしめながら、という前提のうえで、双方が向かい合うことなのです。

サッカーなどが良い例です。両国のサポーター（応援者）は、試合前には必ず自国の国歌を歌います。起立して歌う。また、相手国の国歌、吹奏のときも、自国以上に姿勢を正して、⁶直⁷不⁸で聞き入るのが礼というものなのです。

次いで始まる試合。これが激しくても、勝敗を争うことでも、友好親善の一助になるのが望ましい。グローバルというのは、サッカーの試合の中のフィールドなのです。

相手の言うことに従うことや、相手側に近づくためにフィールドに下りるのはタブーしてはいけないこと——です。自立。国際化とは、まず自立する自分を確かめることにほかなりません。

⁵立場を鮮明にした両者が向かい合う場、それを国際化、グローバル化の場というのです。相手と仲良くするか、協調的な姿勢でいられるか、ときには激しくやり取りをするか、それらは議論、話し合いで決まっています。

このとき、自分というものを持っているなければ勝負になりません。アメリカ人と対峙したとき、必ず相手は、⁶星条旗を胸に刻んでこちらを向いています。日本人もまた、日本国民であることに誇りを持ったうえで国際化でなければなりません。

特に教育の基本は、人と人との対一の関わりが非常に大事なものです。

これはまさに将棋の世界です。一対一で向かい合い、交互にルールを守って指す。全力で戦う。

だから厳しくされればされるほど、恨むどころか、いい修行ができたと（ Y ）する。こうした教育の原点、基本というものが失われ、便利に絵が出たり、高速で送れたりするのを文化の進歩と思いつ込んではいないでしょうか。

（米長邦雄『幸せになる教育』海竜社二〇〇一年より 一部改変した）

問一 傍線部ア、オの漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問二 空欄Xに最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 知的財産

イ 産業廃棄物

ウ グローバルスタンダード

エ 科学技術

問三 空欄Yに最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア 祝福

イ 自慢

ウ 満足

エ 感謝

問四 傍線部A・Bの空欄にそれぞれ適切な漢字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

問五 傍線部1とありますが、魂を育むために筆者が重要だと考えているものは何ですか。その答えにあたる十二文字の言葉を文章の中から探し、その最初の五文字を答えなさい。

問六 傍線部2とありますが、ここでの「クモ」は何のたとえですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 新しい産業

イ IT革命

ウ インターネット

エ 情報

問七 傍線部3とありますが、筆者がこのように述べる理由として明らかに誤りと思われるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 教育というものの本質というものを見失ってしまいかねないから。

イ 子どもの自由な成長や飛躍を邪魔することになるから。

ウ 携帯電話やテレビゲームのみ特別扱いしているから。

エ 大脳皮質のある部分の機能低下を起こす恐れがあるから。

問八 傍線部4の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 簡単に崩れてしまうもの

イ 遠くにあるすばらしいもの

ウ 理想的な建物

エ 無邪気な子どもの砂遊び

問九 傍線部5とほぼ同じ意味の内容が述べられている一文をこれより前の文章中から探し、その最初の五字を答えなさい。

問十 傍線部6とありますが、これはどういうことを表わしていますか。その答えとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア アメリカこそが世界一であり、絶対に勝つという自信。

イ アメリカのユニフォームが最も美しいという確信。

ウ 自分たちはアメリカの代表として闘うのだという誇り。

エ アメリカこそが国際化の先頭に立っているのだという自覚。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

夜遅く家族が寝静まった後に帰宅して、勝手知ったるわが家のことゆえ、灯りもつけずに暗い居間を通り抜けようとする、つま先に当たったミニカーがカラカラッと走る。こんなものをまともに踏みつけると、多少酷罰している身体ごとひっくりかえりかねないから、ちゃんと用心して、すり足気味に歩いていたのだ。そこで少しもあわてず、ミニカーを拾い上げて、居間の玩具がわりになっている子ども用のベンチの蓋を開けて放り込む。僕のように息子が幼稚園に出かける頃に起き出して、寝てしまってから帰宅することの多い人間にとっては、帰宅して玩具を蹴っ飛ばすなんていうのも、身近に子どもの存在を感じとる一瞬として、何か捨てたい感慨のあるものだ。しかし、いつもこの程度で済むのなら「捨てがたい感慨」で終わるのだが、子どもが遅くまで遊んでいて、その相手にくたびれた妻が後片付けをせざるに寝てしまった時などは、いきなり巨大なプラスチックの機関車を蹴飛ばし、あわてて身体をひねると、あらぬところに移動している（たぶんタクシーごっこなどやったに違いない）食卓用の椅子に^アショウトツしたりする。そんな時はやむを得ず灯りをつけるが、そうすると、床一面に自動車や積木が^イサンランしているのはもちろん、クッションやキャスター付のテーブルが、あちこち勝手なところに移動して、よくもやったわい、というくらい、居間全体が子どもの遊びの空間になった痕跡^{こんし}があつて、（ X ）こともある。

これは四〜五歳の子どもがいる家庭ではよくあることではなからうか。まったくこの年齢のベビー・ギャングどもを、子ども部屋に閉じ込めておくことは不可能で、家中が彼ら彼女らに侵略されて遊び場になってしまう。日本の住宅事情の中では、どうにか子ども部屋を作ったにしても、せいぜい六畳ぐらいの広さで、そこに^ニベッドがのさばっていると、子どもが自由に動きまわられるスペースは小さい。そういうところへ腕白さかりの子どもを押し込んでおこうというのは、しよせん無理で、言ってみれば大人の都合による専制政治になつてしまう。

子どもが子ども部屋にいない原因は、その広さだけではなく、位置にもある。今日、子ども部屋は両親の寝室の近くに置かれるのが普通だろう。それは、子ども部屋が、子どもの寝室でもあるからで、一人で寝始めた幼児に安心感を与えるためにも、親が寝る前に子どもを見回ってやるためにも、その方が自然なのだ。しかしこうした配置の結果、子ども部屋は、居間、食堂を含む昼間の生活の中心から遠くなる。たとえば、ごく一般的な平面計画では、子ども部屋は両親の寝室と一緒に二階にまとめられ、一階にある生活の中心部から切り離される。こうなると、まだ親、特に、母親の近くにいないと不安な幼児が、昼間は誰もいない二階の自室でおとなしくしているはずがない。

一方、もっと大きな子どもがいる友人に右のような話をする、子どもが居間でさばって困る、なんていうのはほんの一時期的なこと³で、中学生ぐらいになると、さつさと二階の自室に閉じこもつてしまうので、子どもの様子がわからなくなり、もう少し出てきてくれればよいのに、と親の方で思ったりすることもあるそうだ。

つまり、幼児の場合も、ある程度成長した子どもの場合も、子ども部屋を、昼の生活中心から^ウカクリするのは、どうも不都合が多い。本当は、昼の生活領域と夜の生活領域の中間に、つまり居間と両親の寝室のどちらからも近いところに子ども部屋があるとよいので、僕も平屋建ての家でそういう設計を試みたことがあるが、今日の一戸建て住宅は、たいてい限られた土地を有効に利用するために二階建て以上になるから、そういう⁴理想的な配置を実現できる場合はごく少ない。

こうした現状、つまり、子ども部屋を二階に配置せざるを得ず、したがって幼児は子ども部屋にとどまっていけないで、一階の居間を遊び場にする、という状況に、いかに^エタイショしたらよいか、というと、これは明快に答えられない。（ A ）⁵、幼児をなるべく早く子ども部屋へ追い返そうとするのはやめたい、ということだ。それは前に書いたように、大人の都合だけの主張になりやすいし、その結果、少し大きくなると、出てきてほしいのに自室に閉じこもるような子どもを作りかねないからだ。

子どもが自室に閉じこもるのは親から独立した自分だけの精神的世界を持ちはじめたことの現われだろうから、悪いとばかりは言えない。⁶子どもだって、自分が親に完全管理されることをいつか嫌うようになるもので、もしそうならないとすれば、また別の心配が生じるだろう。（ B ）⁷、これは程度問題で、子どもが学校から帰ってきて寝るまで、食事のときを除いてずうっと自分の部屋にいる、というのでは、家族間のコミュニケーションも希薄になる。だから、子どもがある年齢に達して自室に閉じこもりがちになることを、一つの成長過程として認めるにしても、建築的にそれを助長するような空間のつくり方は避けるべきだろう。

（ C ）⁸、子ども部屋は、あんまり居心地が良くない方がよいのではないか。居心地が良くない、という用語^ゴ語弊があるが、少なくとも良すぎない方がいい。もっと正確に言えば、ある内向的な時を過ごすには居心地がいいが、その気持ちがふつと外へ向いた時には多少気づまりに感じられて、自然に部屋の外へ、居間や食堂へ出ていきたくなるような部屋がいい。

（ D ）⁹、子ども部屋は広すぎない方がよい。人間の気持ちの内に向かった時は、ある程度の狭さはかえって快いものである。子ども部屋の場合、そこは子どもにとって就寝室でもあるわけだから、書斎のように机と書棚だけの一坪というわけにはいかないが、空間の立体的利用などの設計上の工夫によって、狭さの中の快適さ、とでも言うべきものを狙うべきだろう。内向的な心理には快くても、外向的な心理にはやや息苦しく感じられるくらいのスペースを与えると、子どもが居間や食堂のような共同空間へ出ていく気持ちにもなりやすい。

オ

【子ども部屋をみなさん熱心におつくりになっているけれども、私は、子どもにちゃんとした部屋をあてがうのは感心しないんですわ
自分だけの空間は、少しはあったほうがいい。二段ベッドの上だけとか、押入れのような所、つまり独りで寝られるだけの空間がそれぞ

子どもがそれだけで自足するような空間を与えてしまうと、子どもがハングリーでなくなってしまうということ、よくないと思うん

今みたいに、みんなが子ども子どもで、一所懸命子ども部屋なんか作り、そこには何もかもそろえてあつて、そういう所に子どもが閉

子ども部屋が「王国」であってはずらず、「避難所」であればいい、というポイントにはまったく賛成である。(E)、いくら

（渡辺武信『住まい方の思想』中公新書一九九九年より一部改変した）

問一 傍線部ア、イのカタカナを漢字に書き改めなさい。

問二 空欄 A ～ E に最も適切な言葉をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。

ア しかし、そうは言っても

イ しかし確かなことは

オ　　そういふ考えにしたがうと

工　これは逆に言えば

問三 空欄Xに最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

ア うれしくなる

イ なつかしくなる

ウ　うんざりする

工
すがすがしくなる

傍線部１とありますが、これはどのような「感慨」ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 玩具を買ってやらなければよかったという感慨。

イもつと子どもと一緒にいてやればよかったという感慨。

ウ 自分もいつの間にか父親になったのだという感慨。

工もつと子どもを厳しくしつけるべきだったという感慨。

問五 傍線部2とありますが、文の技法上、何と呼ばれているものですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 倒置法

イ
擬人法

ウ 体言止め

工 連体形止め

問六 傍線部3とありますが、この理由を筆者はどのように考えていますか。その答えにあたる言葉を含む一文を、これより後の文章中

問七 傍線部4とありますが、「理想的な配置」とは、具体的にどのように配置することですか。答えが「子ども部屋を」に配置すること。」となるように、空欄に適切な言葉を文章中から二十文字で探し、その最初の五文字を答えなさい。

問八 傍線部5とありますが、筆者はこのことをどのようなことにたとえて述べていますか。その答えにあたる四文字の言葉をこれより前の文章中から抜き出しなさい。

問九 傍線部6とありますが、この考え方にしたかうと、子ども部屋は子どもにとってどのような場であると言えますか。その答えにあたる十文字の言葉をこれより後の文章中から抜き出しなさい。

問十 この文章の【 】部分（桐嶋洋子氏の引用文）を八十字以上百字以内で要約しなさい。なお、解答の中に「避難所」「自足」「成長」という言葉を入れること。

国語
解答用紙

※印らんには何も記入しないこと。

受験番号	
氏名	

評 点
※

[illegible]

問九	問六	問五	問四	問二	問一	
			A		エ	ア
			縦			
	問七			問三		
			無			
			B		オ	イ
問十	問八		直			
			不			
						ウ

問十										問九	問八	問六	問三	問二	問一	
														A	エ	ア
													問四	B		
															オ	イ
												問七	問五	C		
														D		
																ウ
														E		